

医療型児童発達支援に係る自己評価結果公表用

公表日：令和3年2月25日

事業所名：尼崎市立たじかの園

区分	チェック項目	職員による評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> ・言語聴覚療法や発達検査、懇談等を実施するための個室や、登園人数や活動内容により、部屋が狭い、足りないと感じることがある。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症対策で密を避けるため部屋の確保に配慮を要した。 ・職員間で日々調整したり部屋を仕切ったりしながら、部屋を確保できるように工夫をしている。 ・個々の身体機能にあわせてものが必要となるため補装具が多くスペースが狭くなりやすいが、置き場所の工夫や整理整頓を心掛けている。 ・治療のために必要な昇降式ベッド等の器具を、増やすことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 確保されている 14 どちらともいえない 5 ・身体が大きくなってきて、臥位にさせずらい時がある。 ・廊下はすれちがいににくいように思う。トイレも集中すると廊下で順番待ちする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、保護者の協力も得ながら、スペース確保のため、整理整頓に努める。
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の人員基準は満たしているが、利用者から特にリハビリテーションに関しての要望が多い。 ・欠員や産休代替職員は、随時募集を行っているが確保が難しい状況がある。 ・医療型児童発達支援センターとして、様々な支援に取り組んでいる。今年度は、新型コロナ感染症への対策の消毒が増え、業務量が増えている。 ・全職員が協力し合いながら、安全に療育や行事が行えるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 配置されている 7 どちらともいえない 7 配置されていない 4 わからない 1 ・医療的な事柄を(ドクター以外)誰に尋ねても良いか、相談して良いか。 ・OTの先生は少し増やした方がよいと思います。 ・リハビリ、保育共に人数を増やして充実させてほしい。 ・支援がたくさん必要な子どもたちが通うので、今の先生の人数では少ないと思う。先生方の負担が多くて、申し訳なく感じることある。 ・訓練を増やしてほしい。 ・リハビリスタッフが少ない。 ・母子訓練の時間を減らして、リハビリの回数を多くできるようにしてほしい。 ・やはり園に行ったらときに訓練が1つでもできる様になれば良いなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の増員については、財源の関係で困難な状況だが、欠員や産休代替職員確保にむけて努力する。 ・リハビリテーションについては、リハビリテーション実施計画に基づき、今後も計画的に進めていく。 ・母子訓練の時間を含め、充実した療育が提供できるよう工夫を重ねる。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が古くなってきており、段差などバリアフリー環境として十分とは言えない面があるが、スロープの設置や職員が積極的にマンパワーでサポートする等工夫を行っている。 ・補装具等の収納スペースがなく、移動しやすい環境や、集中しやすい環境づくりのため、整理整頓や収納場所の確保に苦慮している。 ・掲示やスペースの色分けなど、視覚支援の取り組みを進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備されている 16 どちらともいえない 2 無回答 1 ・車いすや支持具の周辺に防護柵がないので、子どもが近づいてしまうことがある。 ・配慮されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> スペースの関係で補装具等の収納に苦慮しているが、整理整頓等により、安全で分かりやすい環境づくりに努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・業者委託により、毎日清掃を行っている。また、定期的に職員で大掃除を行っている。 ・今までも手指消毒の徹底等、清潔保持に努めてきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、使用毎の器具の消毒や、定時での環境消毒などをより強化した。 ・設備の老朽化があり、トイレや手洗い場の使いづらさがあるが、手作りのおむつ台の設置など、職員で工夫を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 確保されている 16 どちらともいえない 2 無回答 1 ・トイレの床マットがあまり清潔でないように感じる。 ・給食、水分補給ごとに消毒して気持ちよく過ごせる。 ・網戸と窓のサイズが違い、虫が入ってくる。空調の温度設定ができない。 ・トイレの消毒が一人だとやっぱり大変です。あと、PT後で手を洗うとき洗面台が高いので、一人では無理だなと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上、今以上の対応が難しい部分もあるが、介助等はサポートに努める。 ・環境消毒を徹底するようしているが、マット等長く使っている備品は、買い替えを検討する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目標、計画、報告について、職員会議等で意見を聞きまとめている。 ・行事については、実施後に振り返りを行い、次に活かせるようにしている。 ・ケースカンファレンスにより、支援について振り返り新たな計画を立てている。 ・メンター制度や人事評価制度が導入され、職員も目標を設定し、振り返る機会が持たれている。 		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施していない。 		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・事業団内研修、園内全体研修、部門別研修、新任職員研修、外部研修受講等を行っている。また、外部研修受講者は伝達研修を実施し、職員の資質向上に努めている。 ・今年度は新型コロナ感染症の影響を受け、外部研修の機会が少なかったが、オンライン研修も含めた研修への参加を促している。 		

区分	チェック項目	職員による評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	1	<p>・保護者に記入してもらった「たじかのっこシート」をもとに、担当が聞き取りを行いニーズを把握している。</p> <p>・ケースカンファレンスにて、各部門の評価等をふまえて支援ニーズを話し合い、個別支援計画を作成している。</p> <p>・発達検査の結果はあるが、その他の評価バッテリーの使用は少なく、客観的な分析には課題もある。</p>	<p>(計画の作成に関して) 作成されている 18 どちらともいえない 1</p>	<p>・現状の評価については、根拠を示し説明できるよう、スキルアップに努める。</p>
	2	<p>・子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援計画の作成</p> <p>・子どもの状況に変化があった際は、カンファレンスを開き、個別支援計画を立て直している。</p> <p>・基本はデイリープログラムに沿い、今年度は保育は集団、リハビリは個別が主となっている。その中で個々に応じた支援を提供できるよう計画を作成している。</p>	<p>・見直しのタイミングも早めなので良い。 ・できていると思う。</p> <p>(具体的支援内容の記載に関して) 記載されている 17 どちらともいえない 1 無回答 1</p>	
	3	<p>・ケースカンファレンスで情報の共有を行い、発達支援、家族支援、地域連携の項目で計画を立てている。発達支援の目標は、遊び、運動、コミュニケーション、生活等の項目で支援内容を設定している。</p> <p>・必要な内容は具体的に記載するようにしている。</p>	<p>・できていると思う。</p>	
	4	<p>・計画を意識した関わりを行っているが、不十分だった部分は、ケースカンファレンス時に再認識し、再度取り組んでいる。</p>	<p>実施されている 16 どちらともいえない 2 無回答 1</p> <p>・全員で統一はされていないと思う。</p>	<p>・職員が再度共通認識し、個別支援計画に沿った関わりを行うよう努める。</p>
	5	<p>・保育の活動プログラムは、話し合った年間予定に基づき決めている。行事は、職員会議で内容を検討している。</p> <p>・個別の活動は、ケースカンファレンスや、日々の情報共有で検討、工夫している。</p>		
	6	<p>・平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援</p> <p>・土・日・祝日等の休園日は、直接的な支援はできないが、家庭での様子を聞き、過ごし方やレスパイトに関する相談、リハビリホームプログラムの提案などを行っている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下の休園期間には、リモート療育や、電話での状況把握、保護者用の相談メールの開設など在宅支援プログラムを工夫した。</p>		
	7	<p>・個々の子どもの発達に沿って、繰り返し経験することの大切さと、様々な活動を経験することの大切さがあり、両方を意識して活動を検討している。</p> <p>・季節や、行事、年齢などを考慮しながら活動を変化させている。</p> <p>・子どもの反応を見ながら、好きな活動から、遊び方のバリエーションを拡げ、より楽しめる内容にしていけるよう検討している。</p>	<p>工夫されている 15 どちらともいえない 4</p> <p>・保育時のレクリエーションが多彩で良い。 ・同じ内容が続いて飽きている時もある。</p>	<p>・引き続き、子どもの発達に沿って、繰り返し経験すること、様々な活動を経験すること、両方を意識して活動を検討していく。</p>
	8	<p>・デイリープログラム上、支援開始前に確認を徹底するための十分な時間が確保できているとは言えないが、保育やグループ言語等、集団での支援の際は、内容や役割分担などの打ち合わせを実施している。</p> <p>・職員朝礼や職員会議で、確認している。緊急を要する個別に配慮すべき事案は、朝礼後に担当者間で会議確認している。</p>		
	9	<p>・保育部門は、日々振り返りを行い情報を共有している。</p> <p>・他部門は、兼務の関係で日々振り返ることは時間的にも難しいが、必要な事項については、随時担当者チームと共有することを心掛ける他、各部門の会議で共有している。</p>		
	10	<p>・保育日誌、リハビリテーションのカルテ等に、支援内容を記載し、支援内容の検証、改善に努めている。</p> <p>・業務の状況により、その日のうちに記録ができないことがある。</p>		
	11	<p>・6ヶ月に1回以上モニタリングを行い、支援計画を見直している他、支援方法の変更が必要な時は、随時カンファレンスを行っている。</p> <p>・障害児相談支援事業所とも情報を共有し、見直しをしている。</p>		
1	<p>子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画</p>	<p>・サービス担当者会議が実施される際は、参加すべき担当者が参加できるように調整している。</p>		
2	<p>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</p> <p>・主治医からの意見書に応じて支援内容を検討している。</p> <p>・関係機関と個別支援計画の共有するほか、進路先への引継ぎ、見学の受け入れ、必要に応じ情報交換等を行い連携を図っている。</p>			

区分	チェック項目	職員による評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・主治医に意見書を頂くが、書面を通したやり取りが主の為、十分でないと感じることがある。必要に応じ管理医師を通して主治医に連絡を取ることもある。 ・施設上、医療設備が十分ではないため、緊急時すぐに対応できない不安がある。 ・緊急時は、管理医師から主治医に連絡をし、救急搬送を依頼する。 		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・引継ぎ書を作成し、会議等で引継ぎを行っている。また、移行先の職員見学を積極的に受け入れ、移行後はアフターフォローで職員が訪問し、支援内容及び情報の共有に努めている。 		
	5 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿肢体不自由児療育施設連絡協議会や全国児童発達支援協議会に加盟し、情報の収集、意見交換、主催研修への参加に努めている。 ・今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、研修等の機会は少なかつたが、感染症対策の各施設の状況などについて連絡を取り合うことができた。 		
	6 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度については、新型コロナウイルスの影響を受け、例年行っている保育所交流が実施できていない。 ・今後は、感染対策などの検討や交流方法の検討が必要である。 ・地域の小学生との交流の機会などがあればよいと思う。 	<p>提供されている 4 どちらともいえない 2 されていない 4 わからない 9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の関係？まだない。 ・コロナのため、今年はなかった。 ・2020年度は、ありませんでした。 ・コロナで中止。 ・まだ交流したことが無いのでわかりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで継続してきた保育所との交流が、コロナ禍で途切れることの無いように、保育所と連絡をとり、可能な範囲での交流を考えていく。 ・地域の小学校との交流についても、検討していく。
	7 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、例年行ってきた、グループハウス交流や行事への招待が困難であったが、子どもの作品を送る、行事の際のメッセージを頂くなどした。 		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明するほか、必要に応じ随時説明している。 ・支援内容について記載した園のしおりを毎年見直し、年度始に配布している。 	<p>説明されている 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明ありました。 	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	<ul style="list-style-type: none"> ・「発達支援」「家族支援」「地域連携」の項目ごとに、個別支援計画をたて、保護者に説明し、同意を得ている。 	<p>説明されている 18 無回答 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明ありました。 	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレント・トレーニングは行っていないが、保護者勉強会やミニ講座、必要に応じ個別でわかり方などの相談に対応している。 ・あまっこファイル作成の勉強会の実施、行事、就学に向けたサポートファイルの作成を支援している。 	<p>実施されている 12 どちらともいえない 3 わからない 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りの時の注意点や日頃のかかり方におけるアドバイスがもらえて良い。 	
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・保育やリハビリの際、子どもの状況について、保護者と共有することを心掛けている。必要により、懇談や、心理相談、お便りポストなどで共通理解する機会を持っている。 	<p>徹底されている 18 どちらともいえない 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よく相談にのってもらっています。 ・何気なく言った小さな悩みにも耳をかたむけてくれる。 ・登園日以外はどうだったのか聞いてもらえたりしているので、伝わっていると思います。 	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応に必要な助言の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談に丁寧に対応することを心掛け、保護者と担当者チーム、児発管で共有しながら、対応の検討を行っている。 ・相談があった際は、保育担任や相談内容に応じた専門職が懇談する他、おたよりポストや相談用メール等で助言することもある。 ・クラス懇談やグループミーティングなど、保護者同士で子育てについて話せる機会を大切にしている。 	<p>実施されている 14 どちらともいえない 3 わからない 1 無回答 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談というものはあまりした記憶がありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子登園という特徴を生かし、日々の療育の中で話す機会を設ける他、必要に応じて個別の相談時間をとっていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で父母の会の活動も制約を受けている状況であるが、会議の際の場所や時間の調整、会議中の託児、活動の相談等の協力を行っている。 ・例年、始業式や終業式に合わせて、父母の会の全員で話し合いをしていただく時間を作っているが、今年度はコロナ禍のため作っていない。 	<p>支援されている 11 どちらともいえない 5 されていない 1 わからない 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから？ なかなか保護者同士でゆっくり交流する時間がない(子どもから目が離せない) ・今年は特になかったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら、全員で話し合っていたり機会を作る。

区分	チェック項目	職員による評価	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 苦情受付の体制は、整えている。 ご意見をいただいた時は、迅速に対応を考えるよう心掛けている。 園への要望書を受けたり、「園への意見を聞く会」を実施したりして、意見を聞く機会を設けている。いただいた意見は、全職員で検討し、父母会代表に文章で回答している他、回答の回覧や掲示を行って周知している。 要望の内容により人的、物理的に対応が難しい事もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応されている 11 どちらともいえない 3 されていない 1 わからない 2 無回答 2 <ul style="list-style-type: none"> 意見書の回答など、答えられていると思う。 あった場合は対応していただいていると思います。 苦情をいったことがないため不満はない。 		
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個々の状況に応じて、マカトンやカード等視覚的な支援、スイッチの活用などを行っている。 保護者に対しても、園だより「たじかのっこ」や、行事等のお知らせ文、掲示板、みまもるめ、必要により個別での電話やメール、文書などを使って、情報伝達できるよう心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 配慮されている 12 どちらともいえない 4 わからない 1 無回答 2 <ul style="list-style-type: none"> 訓練で教わった内容のメモ時間が欲しい。(訓練中は親も一緒に動いているので難しい) 	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> 園だより「たじかのっこ」やクラスだよりを毎月発行している。 行事は、詳細を記載したお知らせを配布している。 	<ul style="list-style-type: none"> 発信されている 16 どちらともいえない 1 無回答 2 <ul style="list-style-type: none"> されていると思う。 	
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の取り扱いについて会議で確認を行い、数値徹底した。 職員室外への個人情報の持ち出しを禁止しているが、やむを得ない場合は、責任者の許可を得ている。 施錠のない棚に個人ファイル等が保管されているため、注意が必要。また、パソコン上の個人情報の整理に注意が必要。 デイリープログラムの変更により、午後からの懇談時は個室を確保しやすくなっている。 利用者にも、写真や動画の流出防止のためのルールを伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> されている 16 わからない 1 無回答 2 	<ul style="list-style-type: none"> 職員室は、外部の人が入室することが無いようにしているが、机上の整理、パソコン上の整理を心がける。 	
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時・防犯マニュアルは職員には配布している。 保護者へは、毎月の避難訓練、新入園児へのミニ講座などで周知を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 周知徹底されている 17 無回答 2 <ul style="list-style-type: none"> 訓練も実施している。掲示もある。 説明されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルを必要な時にすぐに確認できるよう、置く場所を工夫する。 保護者により周知できるよう、保護者控室に緊急時・防犯マニュアルを置くようにする。
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> 毎月避難訓練を実施し、職員の動きを確認し見直している。今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為、利用者の避難は説明にとどめているため、個別的な訓練を検討している。 2回実施された館内の避難訓練に代表者が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施されている 15 どちらともいえない 1 わからない 1 無回答 2 <ul style="list-style-type: none"> 参加できていない。 	
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会を設置し、研修等の計画や事例の確認をしている。 虐待防止研修を2回実施し、適切な対応ができるよう取り組んでいる。 		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束、行動制限を行う場合は、ケースカンファレンスで確認、決定し、個別支援計画とあわせて保護者に説明を行っている。 座位保持等のベルトの使用についての記録や、使用方法に変更があるときは保護者に説明し了解を得ている。 姿勢保持等のため安易にベルトを使用してしまっていることがあるように思うが、なるべく少なくできるようチェックしている。 		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> 入園前に丁寧に聞き取り、主治医からアレルギーに関する指示書を提出してもらっている。 指示書を、管理医師・看護師・栄養士が確認し、除去食の対応を決定している。 日々の給食に関して、朝礼で除去食等の周知、食事礼、確認表、配膳台の区別、職員間、保護者との複数回の確認など、工夫を重ねているが、ヒヤリハット事例があったため、更に注意していく。 		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットを記録し、報告し会議や朝礼で共有し、できるだけ早く改善策を講じるように努めている。 事例はファイルで、閲覧することが可能で、年度毎に取りまとめ、傾向を周知している。 すべての事例がきちんと報告されるように、より心がけていく必要がある。 		